

# 北上駅西口地区グランドデザイン

令和8年3月



北上市

(空白ページ)



# Contents

<b>序章 はじめに</b> .....	<b>1</b>
(1)グランドデザイン策定の目的.....	1
(2)北上西口周辺の経緯.....	2
<b>第1章 上位計画における位置づけ</b> .....	<b>3</b>
(1)北上駅西口地区の位置づけ.....	3
(2)北上駅西口周辺エリアの主要な事業.....	4
<b>第2章 北上駅西口地区の現状とニーズ</b> .....	<b>5</b>
1. 北上駅西口地区の現状.....	5
(1)人口.....	5
(2)土地利用・都市機能.....	6
(3)景観・緑.....	11
(4)交通.....	12
2. 市民のニーズ.....	16
(1)市民アンケート.....	16
(2)高校生ワークショップ.....	20
(3)職員ワークショップ.....	22
<b>第3章 北上駅西口地区の整備課題</b> .....	<b>24</b>
<b>第4章 北上駅西口の整備方針</b> .....	<b>26</b>
(1)北上駅西口地区の整備の基本的な考え方(整備コンセプト).....	26
(2)北上駅西口地区の整備方針.....	27
<b>第5章 北上駅西口の将来イメージ</b> .....	<b>29</b>
(1)北上駅西口地区の空間再編の考え方.....	29
(2)事業範囲と整備モデルプラン.....	32
<b>第6章 事業推進に向けて</b> .....	<b>33</b>
(1)北上駅西口地区における事業手法の考え方.....	33
(2)今後の検討課題.....	34

## 序章 はじめに

### (1) グランドデザイン策定の目的

北上駅は1890年に黒沢尻駅として開業し、1924年に横黒線(現:北上線)が全線開業、1954年に北上駅に改称されました。

その後、1971年10月に東北新幹線の北上駅停車が決定し、1982年6月に東北新幹線が開業しました。この東北新幹線の開業の契機を最大限に活用しようと、北上開発ビルや駅前広場などが整備され、今日の北上駅西口の原型が完成しました。

北上開発ビルについては、開業後約15年後に核テナントであったイトーヨーカドーが撤退、その後さらに約10年後にホテルが撤退し、その後は公共施設が入居するなどして運用を続けてきたものの、施設の老朽化も進んでいます。また、同時に整備した道路や駅前広場も今の時代やニーズに合っておらず、問題を抱えています。

そういった背景から、市の玄関口としての駅西口の今後のあり方を検討し、市民や来訪者にとって快適な駅前へと変貌させる必要があります。このグランドデザインで示すものは、今後の西口の再生の大きな方向性を北上市としてとりまとめたものです。



図 開業直後の北上開発ビル



図 現在の北上開発ビル

## (2)北上西口周辺の経緯

表 北上駅西口周辺のこれまでの経緯

年月	主な事柄
昭和46年10月	東北新幹線の北上駅停車が決定
昭和49年	市街地再開発事業の調査を実施
昭和53年9月	市街地再開発事業の都市計画決定、事業スタート
昭和57年2月	北上開発ビル管理株式会社設立 ⇒市から保留床を取得し、テナントに賃貸、ビルの共用部分の管理を実施
昭和57年6月	東北新幹線が開業
昭和59年8月	再開発事業着工
昭和61年3月	現在の北上開発ビルが開業(公共団体施工としては東北初の竣工)
平成12年1月	イトーヨーカドーが撤退、一時入居率が5%にまで低下 ⇒北上開発ビル管理株式会社、地元行政区、駅前商店街組合から同ビルへの 公共施設の設置要望
平成13年4月	北上市生涯学習センター開業
平成17年7月	地域子育て支援センターとファミリーサポートセンターが北上開発ビルに移転
平成21年3月	ホテル閉鎖、その後クレヨンタワーとして改修
令和5年4月	市民弓道場の建替えに伴い、代替施設運用を開始

# 第1章 上位計画における位置づけ

## (1)北上駅西口地区の位置づけ

北上市(以下、「本市」といいます。)では、都市機能の集約と地域連携による持続可能な都市「あじさい都市」を目指すべき都市像として提唱しています。

また、北上市都市計画マスタープランでは、北上駅周辺地区は、都市の核としてまちの活力とにぎわいを創出する拠点、多様な都市機能が集積し、生活利便性が高く、多様で個性豊かな人・モノ・情報が集まる都市拠点として位置づけられています。

令和4年3月に策定した、都市拠点の総合的かつ計画的な市街地整備を進めるためのまちづくり戦略である「北上市拠点形成プロジェクト/未来ビジョン(地区再生計画)」では、北上駅周辺地区は、「エントランスに相応しい機能と景観の再整備が必要」な地区と位置づけられています。

### 【北上駅周辺】

## move core RED もてなすゾーン 《また来たいと思える地区を目指した取組》

### ■ 望まれる役割

北上市のエントランスに相応しい機能と景観の再整備

### ■ 望まれる機能例

次世代インフラ機能を持つオフィス、ホテル、商業・業務施設、多目的空間、医療施設、福祉施設、住居等

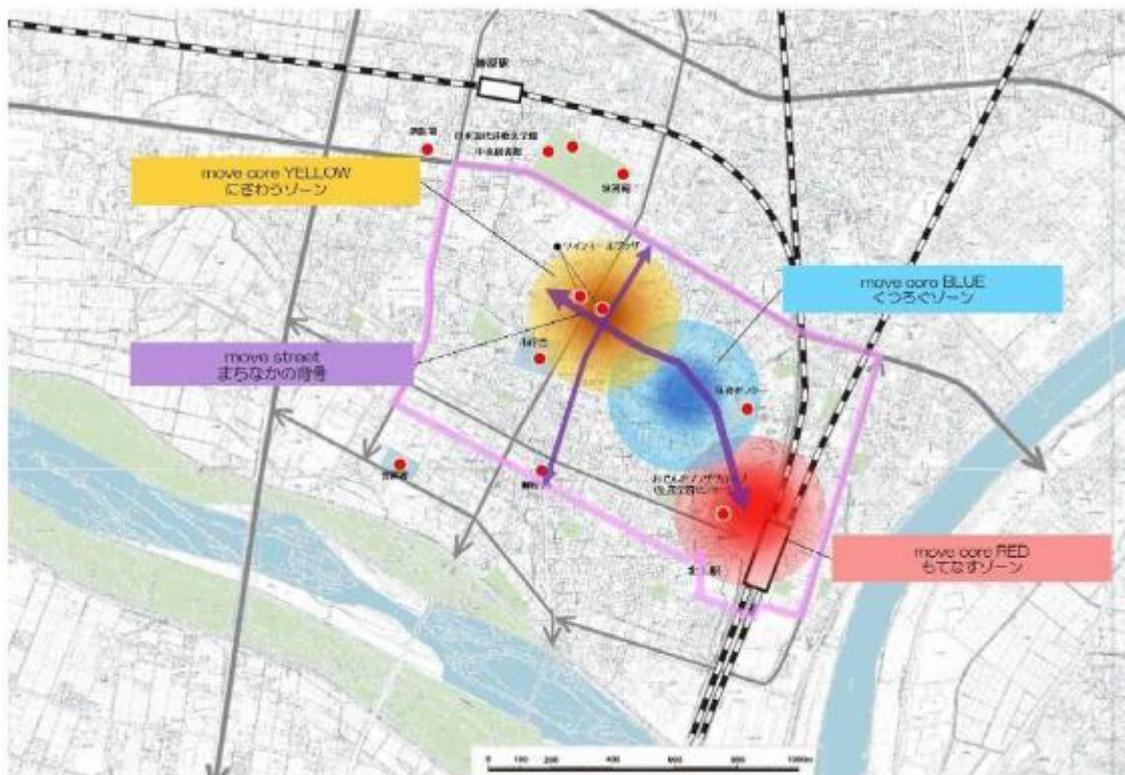
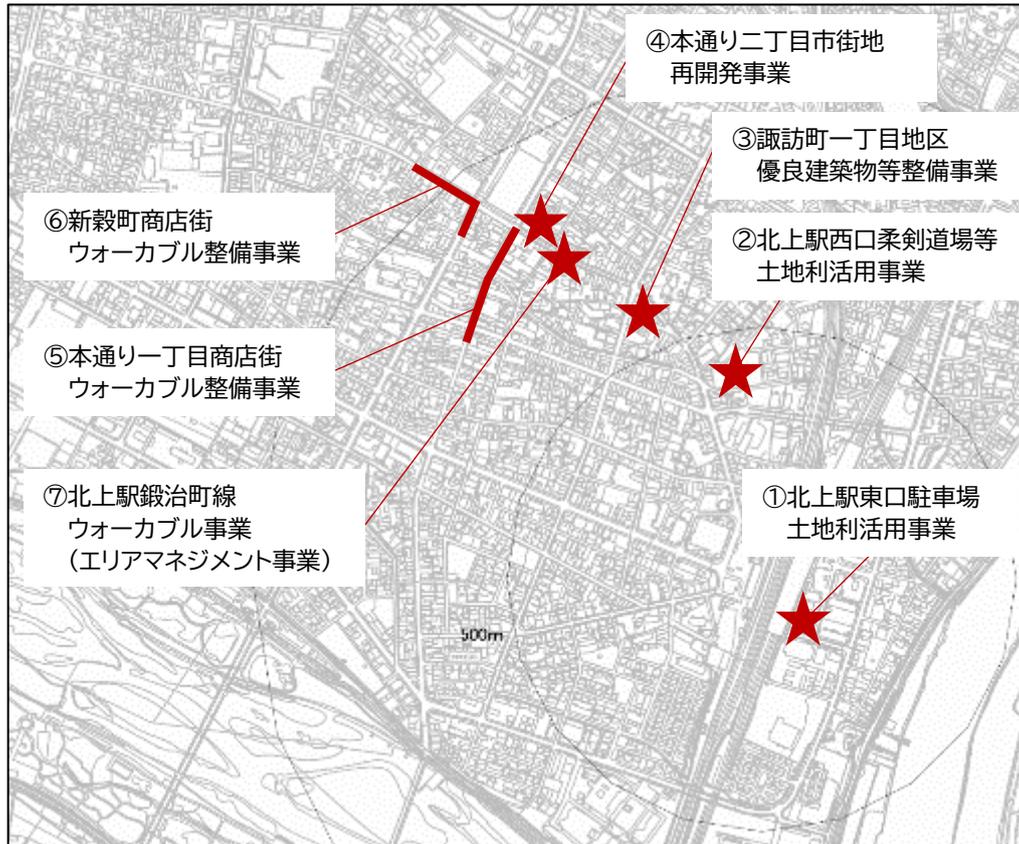


図 未来ビジョン「先導的拠点(ゾーン)と主動線の設定」

## (2)北上駅西口周辺エリアの主要な事業

北上駅周辺において近年実施された事業、また、今後予定されている事業は以下の通りです。



事業名	実施年度	整備概要
①北上駅東口駐車場 土地利用事業	<駐車場> 令和3年オープン <オフィス・マンション> 令和4年オープン <ホテル> 令和5年オープン	立体駐車場(453台) 平面駐車場(51台) オフィステナント(22区画) 賃貸マンション(45戸)・テナント(2区画) ホテル棟(173室)・テナント(北上観光物産館) イベント広場
②北上駅西口柔剣道場等 土地利用事業	<体育施設(北上市民武道館)> 令和7年4月供用開始 <民間収益施設> 令和8年春供用開始予定	A棟:市営体育施設(北上市民武道館) B棟:駐車場 立体:135台、平面:29台 C棟:1階 eスポーツ施設 女性向けトレーニング施設、 店舗2~10階 賃貸住宅(108戸)
③諏訪町一丁目地区 優良建築物等整備事業	令和8年度竣工予定	1階:クリニック他 2~3階:賃貸マンション(10戸)
④本通り二丁目市街地 再開発事業	-	-
⑤本通り一丁目商店街 ウォーカブル整備事業	令和6年 アーケード撤去 令和7年度 歩道整備	老朽化したアーケードの撤去 歩道整備
⑥新穀町商店街 ウォーカブル整備事業	令和5年 アーケード撤去 令和6年度 歩道整備	老朽化したアーケードの撤去 歩道整備
⑦北上駅鍛冶町線 ウォーカブル事業 (エリアマネジメント事業)	令和5年2月より	毎月第4日曜日に「きたかみ朝市」を開催

図 北上駅西口周辺の主要な事業

## 第2章 北上駅西口地区の現状とニーズ

### 1. 北上駅西口地区の現状

#### (1)人口

##### ① 北上市の人口の推移

北上市の人口は、平成17年(2005年)まで増加傾向であったが、平成17年(2005年)以降は横ばいとなっており、令和2年(2020年)は、93,045人となっています。

国立社会保障人口問題研究所の推計をみると、将来的にも人口減少、高齢化が進行すると予測されており、令和32年(2050年)には約2割程度減少すると予測されています。

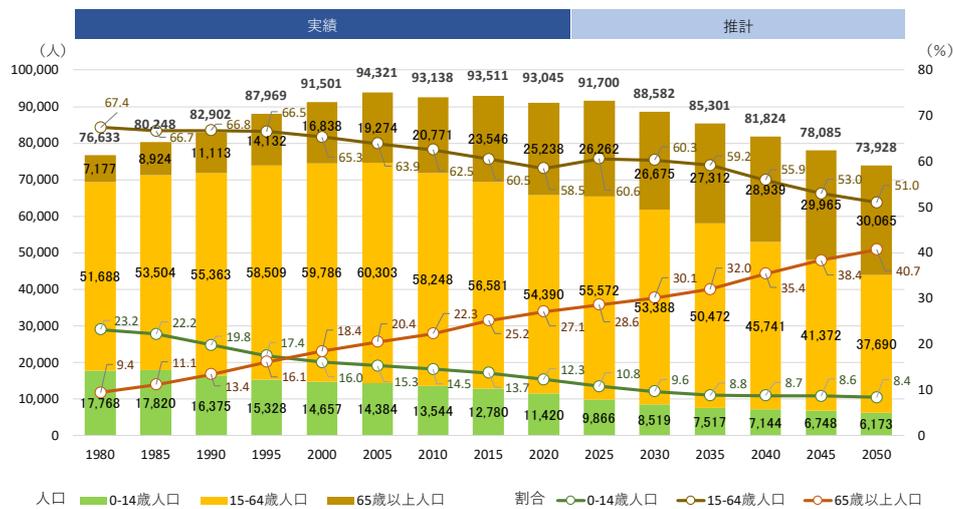


図 北上市 総人口・年齢3区分別人口の推移と将来推計

出典：国勢調査、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」

##### ② 北上駅西口周辺の人口

北上駅西口周辺の人口は、令和3年(2021年)まで漸減していましたが、令和4年(2022年)に増加に転じ1,402人となったものの、これ以降、減少傾向となり、令和6年(2024年)は1,354人となっています。

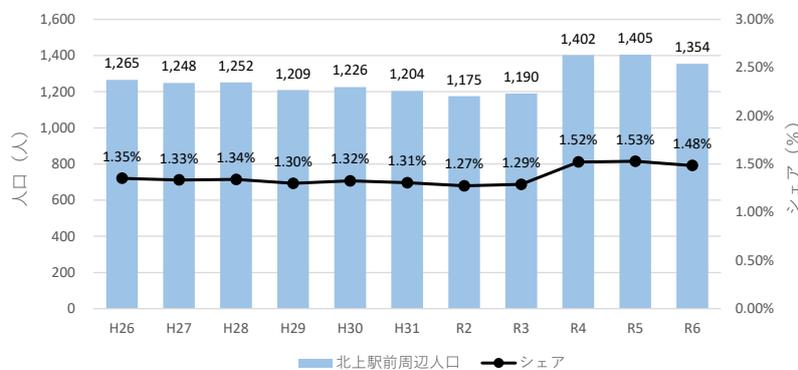


図 令和2年北上駅西口周辺※の人口分布

出典：北上市「住所別人口世帯集計表」  
 ※青柳町一丁目、青柳町二丁目、大通り一丁目、大通り二丁目、幸町

## (2)土地利用・都市機能

### ① 都市計画の状況

北上駅西口地区の都市計画の状況は以下の通りです。都市施設として、駅前広場(8,600㎡)が都市計画決定されています。

表 北上駅西口地区の都市計画

種類	概要
用途地域	商業地域
建ぺい率・容積率	建ぺい率:80% 容積率:400%
建築基準法による高さ制限	道路斜線:適用距離:20m、勾配:1.5 隣地斜線:立上がり:31m、勾配:2.5
防火・準防火地域	準防火地域
駐車場整備地区	指定あり
高度利用地区	地区名:北上駅前地区 建ぺい率:80% 容積率(最高):400% 容積率(最低):200% 建物面積最低限度:200㎡ 壁面の位置の制限:無し
市街地開発事業	【土地区画整理事業区域】:駅前 【市街地再開発事業区域】:北上駅前地区
立地適正化計画	居住誘導区域:都市居住区域(駅前) 都市機能誘導区域:都市機能誘導区域(中心市街地型)

※北上開発ビルを代表地点として整理

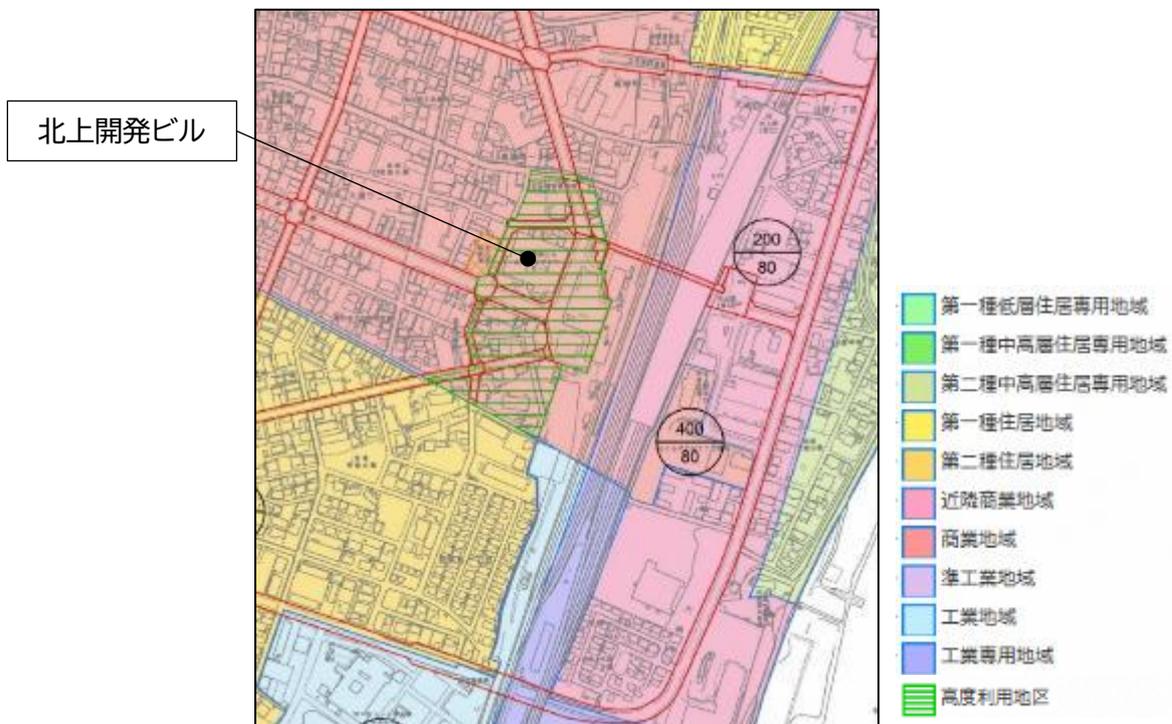


図 北上駅西口地区の都市計画

出典:北上市「わが街ガイド 都市計画情報」



## ② 土地利用現状

北上駅西口周辺の土地利用としては、商業用地が多くなっており、次いで、住宅用地、公益施設用地が多くなっています。一方で、平面駐車場や空き地等の低未利用な土地も分布しています。

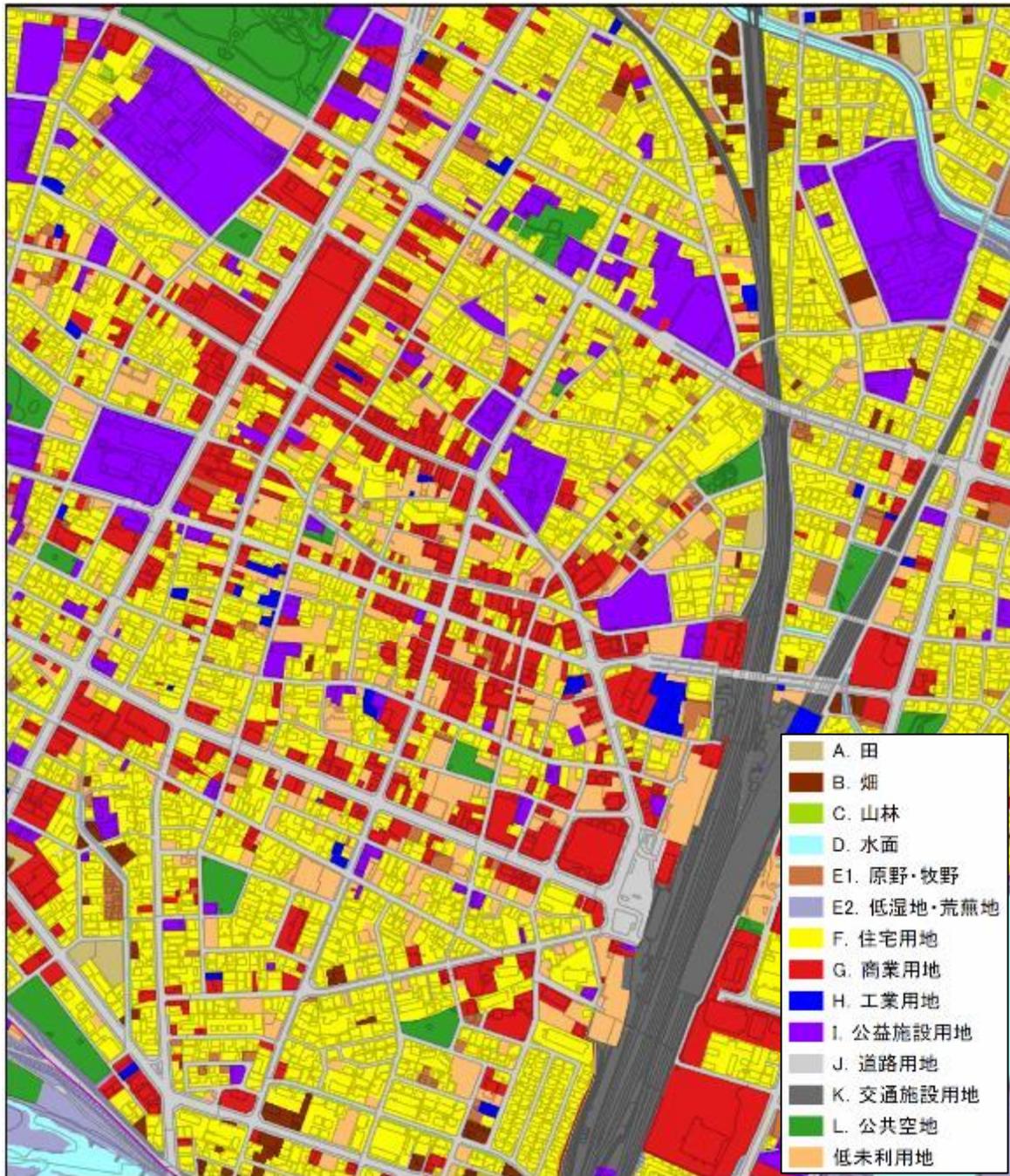


図 北上駅西口エリアの土地利用現況

出典:平成 28 年都市計画基礎調査(宿泊施設の土地を更新)

### ③ 建物利用状況

北上駅西口周辺の建物利用状況としては、商業施設、業務施設、共同住宅、宿泊施設等が分布しています。

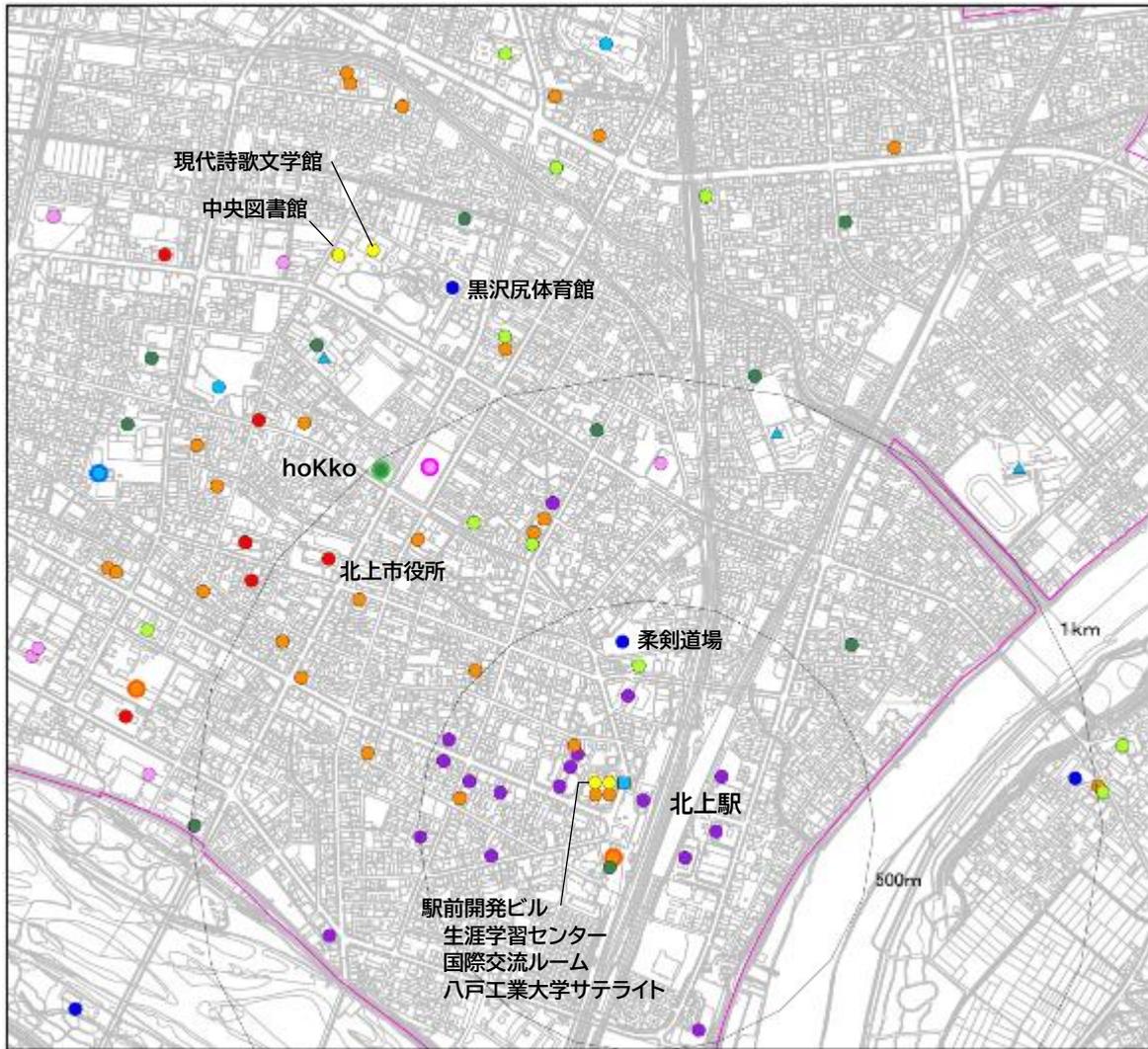


図 北上駅西口エリアの建物用途現況

出典:平成 28 年都市計画基礎調査(宿泊施設を更新)

#### ④ 都市機能の分布

北上駅西口周辺では、北上開発ビルの老朽化等による魅力の低下が生じているものの、公共交通結節点の強みを活かした各種都市機能の集積が行われています。宿泊機能についてはもちろんのこと、医療機能についても、北上駅前病院が新たに開業したり、北上開発ビル内にクリニックが開業したりするなど、集積が顕著です。



- |             |                        |                   |
|-------------|------------------------|-------------------|
| □ 用途地域      | ● 子育て支援機能(地域子育て支援センター) | ● 文化機能            |
| ● 行政機能      | ● 子育て支援機能(幼稚園、保育所など)   | ● スポーツ機能          |
| ● 医療機能(病院)  | ● 教育機能(専門学校)           | ● 商業機能(10,000㎡以上) |
| ● 医療機能(診療所) | ● 教育機能(高等学校)           | ● 商業機能(10,000㎡未満) |
| ● 介護支援機能    | ▲ 教育機能(小学校・中学校)        | ● 宿泊機能            |
|             | ■ 教育機能(高等教育)           |                   |

図 北上駅西口周辺の都市機能の分布

### (3) 景観・緑

北上開発ビルは築40年程度を経過し、新耐震構造ではあるものの、老朽化が進行しており、景観上の魅力が著しく低い状況となっています。

また、北上駅西口駅前広場は緑が少なく、舗装やストリートファニチャー等が老朽化しており、景観面での魅力が低い状況となっています。また、駅前広場にはベンチなどの滞留空間や待合空間が不足しており、利用者が快適に過ごせる環境が整っていない状況となっています。

さらに、ツインモール方面への歩行者誘導を促すサインやデザイン・景観面で誘導が不足しており、中心市街地としての一体性が醸成されていない状況となっています。



① (都)北上駅鍛冶町線



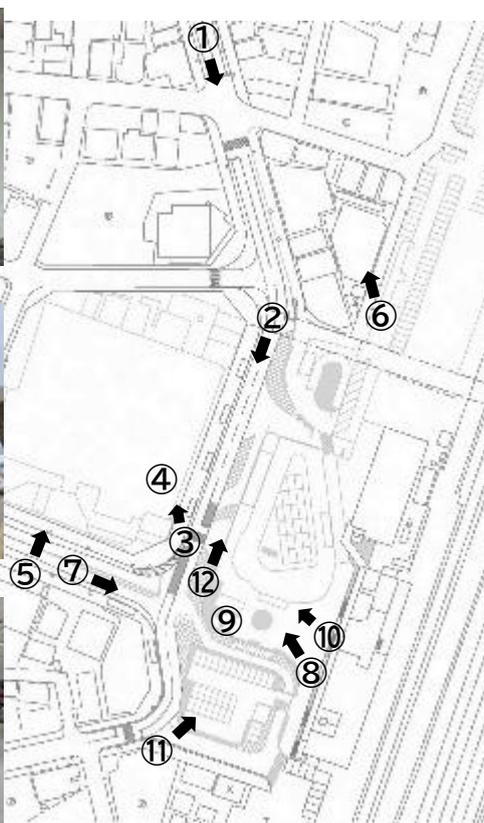
⑥ 北上駅前自転車駐車場



⑧ 駅前広場



② 地下通路



⑨ 駅前広場(ベンチ)



③ 北上開発ビル(東側)



⑩ タクシー乗り場



④ 北上開発ビル(1階休憩スペース)



⑪ レンタカー



⑤ 北上開発ビル(南側)



⑦ (都)北上駅前線



⑫ バス乗降場

図 北上駅西口周辺の状況

## (4)交通

北上駅の乗車人員は、コロナ禍による減少から回復傾向にあります。駅前広場の利用者数は、朝夕の通勤・通学時間帯に多く、日中は比較的少ない状況です。

北上駅西口駅前広場は、自動車を中心とした空間構成となっており、バスやタクシーの乗降スペースには余裕がある一方で、一般車による送迎の利便性が十分とはいえません。また、北上開発ビル方面への歩行者動線が自動車動線によって分断される配置となっています。

### ① 北上駅の一日の乗車人員

北上駅の一日の乗車人員は、コロナ禍前の令和元年度は3,787人でしたが、コロナ禍により著しく利用者が減少しました。コロナ禍後は徐々に回復傾向にありますが、令和5年度は3,668人とコロナ禍前の水準までは回復していない状況となっています。

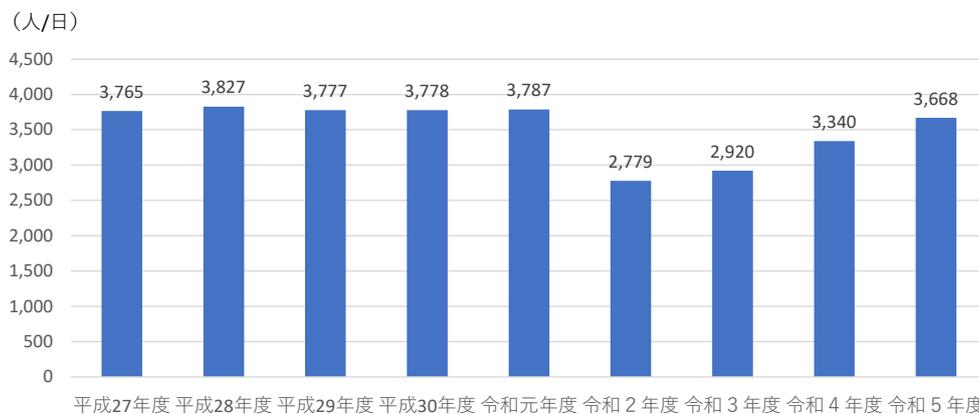


図 北上駅の一日の乗車人員

注)北上駅は、全路線の乗車人員(平均)を合計したもの。  
出典:北上市統計書(東日本旅客鉄道(株)盛岡支社)

### ② 北上駅西口駅前広場来訪者数

北上駅西口駅前広場の来訪者数は通常期が12h(7時台~18時台)で4,9千人、24hで7.9千人となっています。平日の朝ピークは7時台で494人、夕方のピークは17時台の519人となっています。ピーク時以外は、300人台以下の利用となっています。



図 通常期の平日休日別駅前広場時間帯別来訪者(1日あたり換算)

出典:マチレポ

### ③ 北上駅前バス停乗降客数

12時間の利用者は、乗車141人、降車142人です。朝のピーク8時台は乗車35人、夕方のピーク17時台は降車48人であり、乗降合計では17時台が59人(利用率20.8%)と最も多く、通勤(通学)・帰宅による、朝夕の利用が多い状況となっています。

路線バスの乗降は、4箇所のバースで行っています。最も運行本数の多い7時台では乗車10本、降車7本となっており、バースに余裕がある状況となっています。

時間帯	乗車 (人)	降車 (人)	乗降計 (人)	乗降 (%)
7時台	33	10	43	15.2
8時台	35	12	47	16.6
9時台	8	4	12	4.2
10時台	4	5	9	3.2
11時台	3	6	9	3.2
12時台	7	14	21	7.4
13時台	7	1	8	2.8
14時台	3	11	14	4.9
15時台	8	8	16	5.7
16時台	11	8	19	6.7
17時台	11	48	59	20.8
18時台	11	15	26	9.2
合計	141	142	283	100

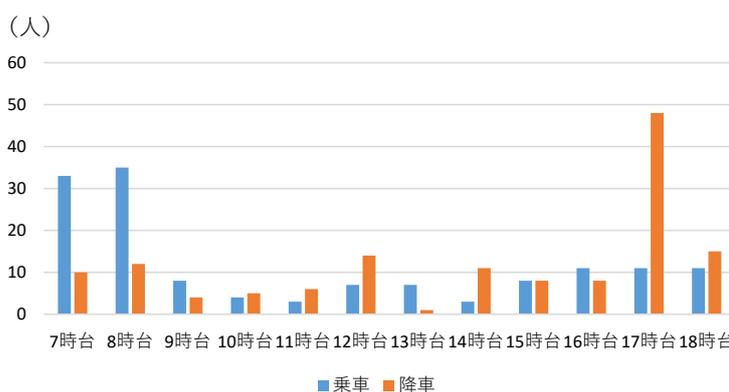


図 一日当たりのバス停乗降客数

出典:北上市「北上駅西口におけるバス停利用者の実態調査(令和3年8月30日(月)~9月3(金))」

表 北上駅発着の路線バス便数の内訳(令和4年10月時点)

乗降 乗り場	乗車(下り)							降車(上り)							総数
	1 a		1 b			1 d	乗車計	1 c			降車バース			降車計	
	石鳥谷線	市内線	北上金ヶ崎線	北上翔南高校・成沢線	成田・村崎野・花北線	横川目線		北上翔南高校・成沢線	横川目線	北上金ヶ崎線	市内線	成田・村崎野・花北線	石鳥谷線		
7時台	2	0	1	2	2	3	10	1	3	0	0	2	1	7	17
8時台	2	0	0	2	0	1	5	1	2	1	0	0	2	6	11
9時台	1	0	1	0	0	2	4	2	2	0	1	1	2	8	12
10時台	1	0	0	1	0	2	4	1	2	1	0	0	1	5	9
11時台	1	0	0	0	0	2	3	0	2	0	0	0	1	3	6
12時台	1	1	1	1	0	2	6	1	2	0	0	1	1	5	11
13時台	1	0	0	1	1	2	5	0	2	1	0	0	1	4	9
14時台	1	1	1	0	0	2	5	1	2	0	0	0	1	4	9
15時台	2	0	0	1	0	2	5	0	2	1	0	0	1	4	9
16時台	1	0	1	1	0	2	5	1	2	0	0	0	1	4	9
17時台	2	0	1	1	1	2	7	1	2	1	0	1	2	7	14
18時台	2	0	1	2	1	2	8	1	2	1	0	1	2	7	15
合計	17	2	7	12	5	24	67	10	25	6	1	6	16	64	131

出典:令和4年度北上駅西口駅前広場再整備検討業務を編集  
※北上金ヶ崎線は、令和6年3月31日運行終了

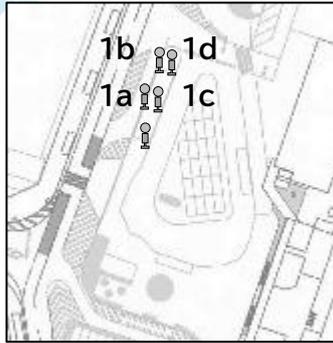


図 北上駅バス乗り場(路線バス)

#### ④ 北上駅西口タクシー利用状況

北上駅西口におけるタクシー利用の実態は、乗車利用が降車利用に対して多くなっています。乗車は、8時台の利用が最も多くなっており、38人、22台となっています。降車は、利用客数では17時台の9人、利用台数16時台の4台が最多となっています。

現在のタクシー乗降場は、乗車バス2台、降車バス2台、待機用駐車場21台で運用しており、スペースに余裕のある状況となっています。

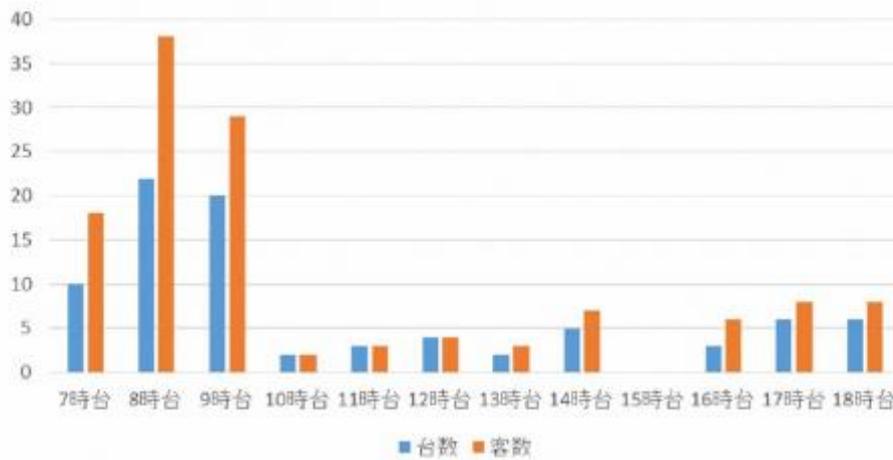


図 時間帯別のタクシー乗車台数・客数

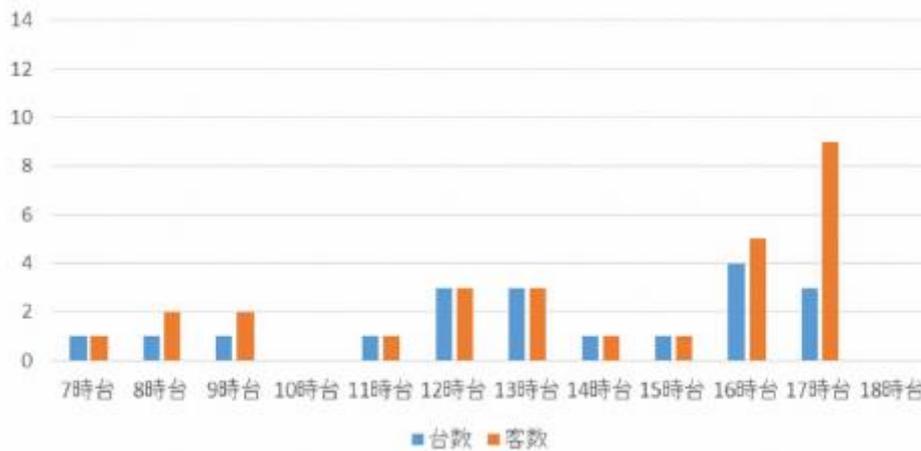


図 時間帯別のタクシー降車台数・客数

出典:令和4年度北上駅西口駅前広場再整備検討業務

### ⑤ 送迎を目的とした一般車の利用状況

現在の駅前広場は、送迎を目的とした一般車に対しては、短時間駐車場(27台)のみの運用となっており、乗車バース、降車バースは設置されておらず、このため、ロータリー等への駐停車が多くなっています。送りの車両は、朝7時台が61台と最も多く、迎えの車両は17時台が28台、18時台が26台と多くなっています。

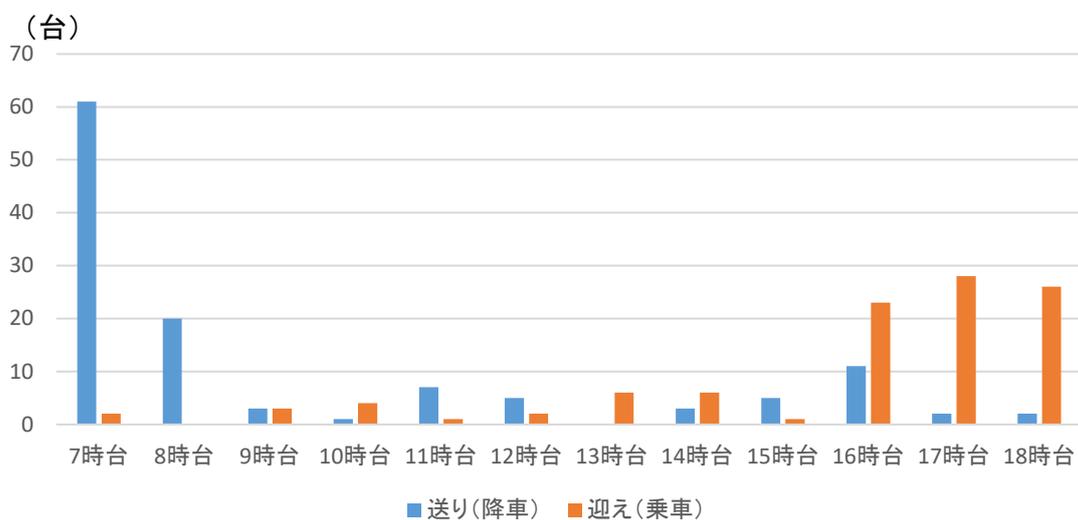


図 時間帯別の一般車降乗降台数

出典:令和4年度北上駅西口駅前広場再整備検討業務調査データより作成

## 2. 市民のニーズ

### (1) 市民アンケート

#### ① アンケートの概要

北上駅西口周辺の来訪者行動と環境評価を把握し、回遊促進や空間改善・機能導入の検討に資する基礎資料とするため、アンケートを実施しました。

調査対象	・住民基本台帳から15歳以上65歳以下の市民1,000人を無作為抽出。 ・北上駅周辺のホテルの客室にアンケート周知のチラシ(QRコード)を配置。
調査方法	調査依頼(はがき)に記載のQRコードからのWeb回答
調査時期	令和6年9月9日～9月30日
回収結果	283票(回収率28.3%)

#### 【結果概要】

- ・北上駅西口は利用頻度が低く、特に若年層以外の利用が少ない。
- ・飲食、イベント等の利用があるものの、送迎等の通過型の利用が多い。
- ・施設や空間の魅力・利便性が不足していると感じられている。
- ・今後の再整備では、商業・交流機能に対するニーズが高く、特に15～20歳の若年層においては、教育機能に対するニーズが高い。また、西口駅前広場に対しては、自動車アクセス・駐車場・イベントスペースの充実に関するニーズが高い。

#### ② 北上駅西口周辺の利用頻度

駅西口の利用頻度は極めて低い(回答者の約半数が月に1度も利用しない)  
 その中で、ほぼ毎日利用するのと回答したのは15歳～20歳の若者

「ほとんど利用しない」と「年に1回程度」を合わせて50.5%と、利用頻度は低くなっています。  
 年齢別にみると、15～20歳は「ほぼ毎日」、「月に1回程度」がそれぞれ25.0%となっています。21～30歳、61歳以上は、「月に1回程度」が42.1%と、他の年齢層に比べて利用頻度が高い傾向があります。

半数が、ほとんど利用しない、年に1回程度

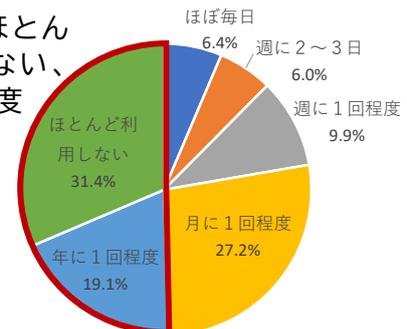


図 北上駅西口周辺の利用頻度

表 年齢別 北上駅西口周辺の利用頻度

	15～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上	合計
ほぼ毎日	25.0%	0.0%	8.9%	6.1%	4.0%	5.3%	6.4%
週に2～3日	0.0%	5.7%	0.0%	7.3%	9.3%	10.5%	6.0%
週に1回程度	18.8%	2.9%	8.9%	14.6%	6.7%	10.5%	9.9%
月に1回程度	25.0%	42.9%	19.6%	25.6%	24.0%	42.1%	27.2%
年に1回程度	12.5%	14.3%	25.0%	15.9%	22.7%	15.8%	19.1%
ほとんど利用しない	18.8%	34.3%	37.5%	30.5%	33.3%	15.8%	31.4%

### ③ 北上駅西口周辺の利用目的

利用目的は、飲食、趣味・娯楽などであるが、送迎や通過するだけの方が多い

全体では、「飲食のため」が最も多くなっています。一方で、「通過するだけ」、「家族の送迎のため」といった滞在しない方も多くなっています。

年齢別にみると15～20歳は、「通学のため」、「趣味・娯楽のため」が多くなっています。21～30歳は、「趣味・娯楽のため」、「イベント・祭り」、31歳以上では、「飲食のため」が多くなっています。

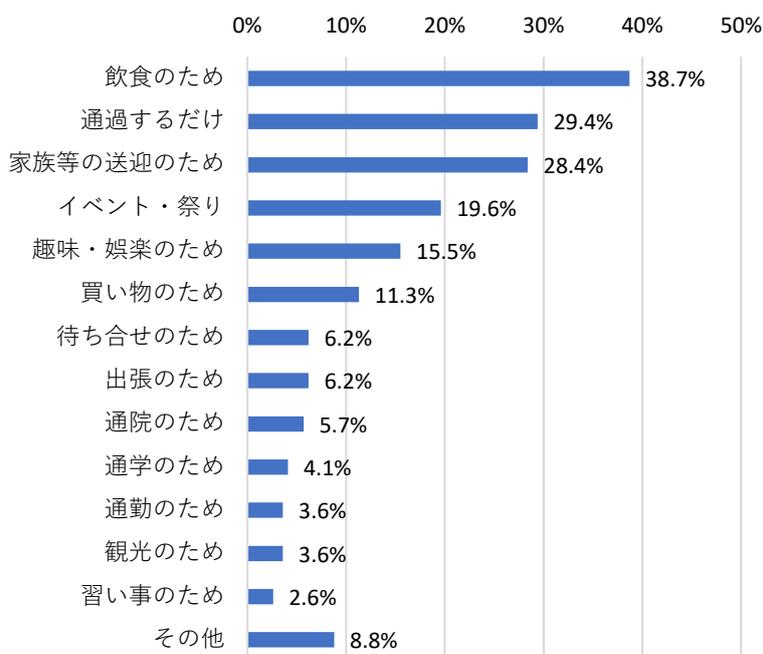


図 北上駅西口周辺の利用目的(3つまで)

図 年齢別 北上駅西口周辺の利用目的(3つまで)

	15～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上	合計
通学のため	38.5%	8.7%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	4.1%
通勤のため	7.7%	0.0%	2.9%	5.3%	4.0%	0.0%	3.6%
通院のため	7.7%	4.3%	0.0%	7.0%	10.0%	0.0%	5.7%
習い事のため	0.0%	0.0%	2.9%	3.5%	4.0%	0.0%	2.6%
買い物のため	0.0%	0.0%	22.9%	14.0%	6.0%	18.8%	11.3%
飲食のため	7.7%	26.1%	45.7%	40.4%	40.0%	56.3%	38.7%
待ち合せのため	7.7%	8.7%	2.9%	5.3%	4.0%	18.8%	6.2%
趣味・娯楽のため	30.8%	30.4%	20.0%	15.8%	4.0%	6.3%	15.5%
イベント・祭り	15.4%	30.4%	34.3%	21.1%	8.0%	6.3%	19.6%
出張のため	0.0%	0.0%	11.4%	5.3%	10.0%	0.0%	6.2%
観光のため	0.0%	8.7%	2.9%	1.8%	4.0%	6.3%	3.6%
家族等の送迎のため	7.7%	17.4%	28.6%	36.8%	30.0%	25.0%	28.4%
通過するだけ	7.7%	30.4%	34.3%	22.8%	38.0%	31.3%	29.4%
その他	15.4%	13.0%	2.9%	8.8%	4.0%	25.0%	8.8%

#### ④ 北上駅西口周辺の満足度

利便性・シンボル性・居心地など、全ての側面で不満を抱く方が多い

「北上駅西口周辺の活気や利便性」、「市の玄関口としてのシンボル性」に対する不満・やや不満が高くなっています。

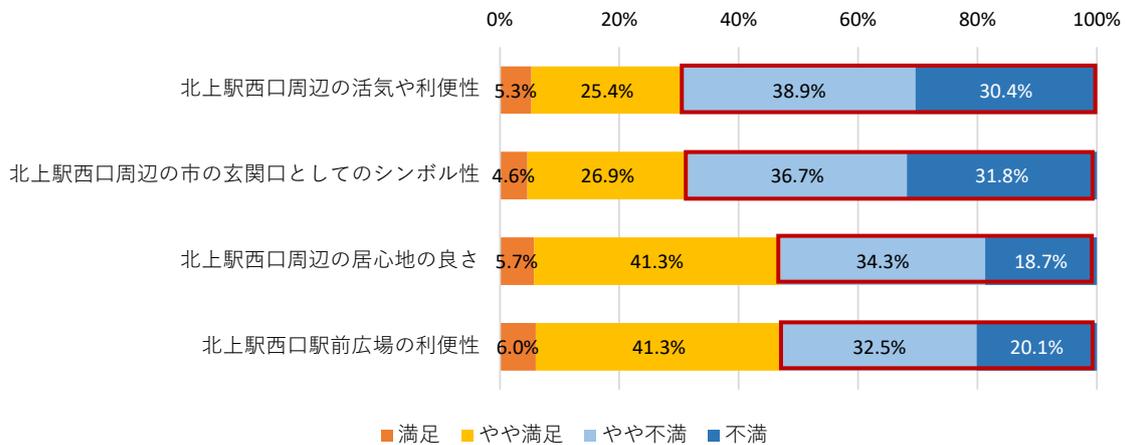


図 北上駅西口周辺の満足度

表 北上駅西口周辺に対する主な不満の理由

設問	主な理由(自由記述)
北上駅西口周辺の活気や利便性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活気がない。賑わいがない、寂しい、人通りが少ない。</li> <li>・利用したい施設・行きたい場所がない。</li> <li>・駅前開発ビルは、利用したい店舗がない。</li> <li>・駐車場が少ない。無料駐車場がない。</li> </ul>
北上駅西口周辺の市の玄関口としてのシンボル性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンボル性を感じない。</li> <li>・北上らしさ、特色・特徴がない。</li> <li>・ランドマーク、シンボルとなるモニュメント、建物等がない。</li> <li>・駅舎、周辺建物が古い。</li> </ul>
北上駅西口周辺の居心地の良さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ、喫茶店、食堂など、ゆっくり過ごせる場所、気軽に立ち寄れる場所がない。</li> <li>・夜暗く、安全面に不安を感じる。</li> </ul>
北上駅西口駅前広場の利便性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西口のロータリーが狭い、送迎時の待機場所がない。</li> <li>・駐車場が少ない。無料駐車場がない。</li> <li>・広場が狭い、イベントスペースがない。</li> <li>・バスの運行本数が少ない。鉄道・バスの最終便が早い。</li> </ul>

## ⑤ 西口駅前広場の再整備で優先して取り組むべき項目

商業機能や教育・学習機能、交流機能のニーズが高い

15～20歳では、「飲食店等の商業機能」、「図書館や自習室等の教育・学習機能」の割合が高くなっています。

21歳以上では、「飲食店等の商業機能」、「イベントスペース、多目的ホール等の交流機能」の割合が高くなっています。

表 西口駅前広場の再整備で優先して取り組むべき項目(最大3つ)

	15～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上	合計
マンション等の住居系機能	6.3%	14.3%	3.6%	1.2%	4.0%	15.8%	5.3%
クリニック、薬局等の医療機能	18.8%	20.0%	10.7%	13.4%	14.7%	15.8%	14.5%
介護施設等の福祉機能	0.0%	2.9%	0.0%	2.4%	2.7%	15.8%	2.8%
オフィス等の業務系機能	6.3%	8.6%	12.5%	8.5%	13.3%	15.8%	11.0%
ホテル等の宿泊機能	6.3%	22.9%	21.4%	23.2%	20.0%	15.8%	20.5%
飲食店等の商業機能	75.0%	88.6%	87.5%	87.8%	80.0%	73.7%	84.1%
図書館や自習室等の教育・学習機能	62.5%	37.1%	32.1%	43.9%	25.3%	15.8%	35.0%
イベントスペース、多目的ホール等の交流機能	50.0%	54.3%	66.1%	56.1%	65.3%	57.9%	60.1%
各種手続きなどが可能な行政窓口機能	25.0%	17.1%	33.9%	15.9%	29.3%	31.6%	24.7%
大規模な会議等が開催可能なコンベンション機能	12.5%	8.6%	16.1%	14.6%	17.3%	21.1%	15.2%
生涯学習・市民活動の拠点機能	31.3%	17.1%	10.7%	13.4%	14.7%	15.8%	14.8%
その他	6.3%	8.6%	5.4%	19.5%	13.3%	5.3%	12.0%

## ⑥ 北上駅西口周辺に必要なと思う機能

自動車のアクセスの利便性に対するニーズが高い

すべての年齢層で、「駅前広場への自動車でのアクセス環境の向上」、「駐車場の配置や台数の増加」、「定期的にイベントができるスペースの整備」の割合が高くなっています。

表 北上駅西口周辺に必要なと思う機能(最大3つ)

	15～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上	合計
快適に通行できる歩行者空間の整備	12.5%	28.6%	16.1%	13.4%	24.0%	21.1%	19.1%
駅前広場への自動車でのアクセス環境の向上	50.0%	57.1%	69.6%	51.2%	65.3%	84.2%	61.5%
バスを待つ環境の向上	12.5%	8.6%	10.7%	14.6%	12.0%	5.3%	11.7%
駐車場の配置や台数の増加	31.3%	65.7%	58.9%	63.4%	61.3%	47.4%	59.4%
駐輪場の配置や台数の増加	31.3%	8.6%	7.1%	4.9%	8.0%	0.0%	7.8%
シェアサイクル等の新たな移動サービスの設置	6.3%	14.3%	5.4%	11.0%	8.0%	10.5%	9.2%
市の歴史や魅力をPRできる空間の整備	18.8%	14.3%	21.4%	23.2%	18.7%	36.8%	21.2%
緑豊かで居心地の良い空間の整備	31.3%	17.1%	23.2%	34.1%	26.7%	36.8%	27.9%
定期的にイベントができるスペースの整備	50.0%	45.7%	58.9%	48.8%	41.3%	42.1%	48.1%
ベンチ等を配置した休憩スペースの整備	37.5%	40.0%	21.4%	28.0%	24.0%	10.5%	26.5%
その他	18.8%	0.0%	7.1%	7.3%	10.7%	5.3%	7.8%

## (2)高校生ワークショップ(令和6年9月25日開催)

北上駅西口の現在の利用状況について、北上駅周辺の利用目的や、不便に感じている点、また北上駅西口のイメージ等について把握するとともに、「駅前でこんなことがしたい」「こんなまちになってほしい」など、高校生の視点から見たニーズを把握するため、ワークショップを開催しました。

ワークショップには、市内の高校4校から計21名の生徒のみなさんに参加していただきました。

### 【結果概要】

テーマ1:現在どんな使い方をしてる?便利・不便に感じる場所は?

⇒待ち合わせ場所などとして駅前を活用するものの、積極的に活用される場所ではない

テーマ2:どんな使い方ができると良い?

⇒誰でも気軽に使える空間(学習機能、待合・休憩、軽飲食機能など)

休みの日も来たくなる空間(交流活動、親子で使える遊び場など)



ワークショップのテーマ

1

現在どんな使い方をしてる？  
便利・不便に感じる場所は？

2

どんな使い方ができると良い？

各班で多くあがった意見

各班で多く挙げられていた意見をまとめました。

誰でも気軽に使える空間

- 気軽に立ち寄ることのできる勉強スペース、カフェ
- 自由に使えるベンチ 等
- 気軽に借りられる体育館、プール 等

休みの日も来たくなる空間

- 友達、親子、家族で楽しめる施設、場所（買い物、遊び場など）
- イベントが実施できる空間
- ショッピングセンターなど買い物ができる、ワクワクできる場所

学習機能

- 1人で勉強に集中できる自習ブース
- 学習スペースのある広めのカフェ
- 1人で集中できるブースと、友達と多少話しながら学習できる場所の両立
- 学習スペースの机・椅子の増設

軽飲食機能

- 朝から営業しているパン屋など
- ゆっくり過ごせるカフェ、ラウンジスペース
- 行くだけで気分の上がるオシャレなカフェ・飲食店
- 中高生が気軽に立ち寄れるリーズナブルな飲食店

子育て支援機能

- 親子で遊べたり体験できる施設
- 親子でゆったり過ごせるブース（遊び場、図書スペース など）
- 家族で楽しめる外構・広場・公園

市民活動機能

- ダンス、楽器の練習が可能な場所
- トレーニングできる場所
- 誰でも利用可能な身体を動かすアクティビティのある施設・体育館
- 民俗芸能などの発表ができる場

待合・休憩機能

- 季節を感じられる／自然が多い空間
- 屋根付きのベンチ
- 街灯の増設

ゲートウェイ機能

- 「北上らしさ」を感じる空間（北上雪まつり、展勝地もち販売 等）

交通結節点機能

- 自転車置き場の拡張
- バス、電車の待合スペース拡張・利便性向上（空調設備など）
- 地下歩道出口位置の適切な案内

----- 各班の現在の使い方／便利・不便に感じている点についての主な意見は以下のとおりです。 -----

A 班

■ 現在の使い方／便利・不便に感じていること

【良い点】

- 駅前がシンプルで分かりやすい。
- お祭りのときに屋台が出ている。

【悪い点】

- 駅周辺で時間をつぶすことができる場所が無い。
- 自転車置き場が狭い。

B 班

■ 現在の使い方／便利・不便に感じていること

【良い点】

- 部活動の場所としておでんせを利用している。
- バスを待つ場所がある。

【悪い点】

- バスや電車の待ち時間に気軽に立ち寄れるお店が少ない。
- 北上らしさを感じられるものがない。駅を出ても心掴まれない。

C 班

■ 現在の使い方／便利・不便に感じていること

【良い点】

- 待ち合わせ場所として利用している。

【悪い点】

- 道路がボコボコ。／街灯が少ない。
- 若者が遊んだり楽しめる場所が少ない。
- 駅前は居酒屋が多く、学生が溜まりにくい。

D 班

■ 現在の使い方／便利・不便に感じていること

【良い点】

- 日常の通学利用で不便を感じる点は特にない。

【悪い点】

- バス待合室が冬季寒い。／駅待合室の席が不足している。
- 勉強できるスペースがほとんどない。
- 交通量が多く、危ない場面がある。

### (3)職員ワークショップ

今後の市政運営を担う若手市職員を対象にしたワークショップを開催しました。それぞれの部署で抱える北上駅西口エリアの課題を共有するとともに、それらを解決するために導入すべき機能などを検討しました。

#### 【開催概要】

回	ワークショップのテーマ
第1回 (令和6年10月11日)	北上駅前の問題・課題 (市民から寄せられる意見の集約)
第2回 (令和6年10月21日)	問題・課題の解決方針 (各課で対応可能な事項、連携すべき事項、駅周辺に導入すべき施策)

#### 【結果概要】

- hoKko 等の公共施設にも配慮したレクリエーション機能の強化
- さくらホールや中央図書館との役割分担を踏まえた市民活動・生涯学習機能の強化
- 駅東口への観光関連機能と連携した来訪者に対する地元情報発信機能の強化



## 北上駅西口が果たすべき役割／導入すべき機能

レクリエーション 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもの遊び場（幼稚園・小学生向け）</li> <li>• 屋内アミューズメント施設</li> <li>• 小規模なスポーツ施設（大人向け）</li> <li>• 公園・広場</li> <li>• 遊具の設置</li> </ul>
市民活動 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 郷土芸能の練習の場（※練習風景を見ることが出来る空間）</li> <li>• イベントができる多目的広場</li> <li>• 子どもの交流の場</li> <li>• 直売イベント</li> </ul>
生涯学習 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 閲覧メインの図書+自習スペース</li> <li>• 中央図書館のサテライト機能</li> <li>• 気軽に出入りのできる空間</li> <li>• 賑やかな図書館</li> </ul>
情報発信 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 北上市の情報を知ることのできる雑誌・書籍の取り扱い</li> <li>• 地元のイベント案内</li> <li>• 観光コンシェルジュやサインージの設置</li> </ul>
飲食施設 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高校生が利用できる営業時間の長いカフェ</li> <li>• オフィス利用の方の昼食が取れる場所</li> <li>• 時間を潰せる飲食施設</li> </ul>
宿泊機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 終電・終バス等に遅れた人が利用できる簡易宿泊施設</li> </ul>
待合・休憩 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公共交通利用者が1時間程度快適に過ごすことのできる待合スペース</li> <li>• フリースペース</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 芝生・緑地</li> <li>• 駅前ビル内の人出・活動が見える</li> <li>• 歩いて行ける範囲でのコンパクトな整備</li> </ul>

## 周辺施設との競合・連携可能性

<p><b>【競合】hoKko</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 現状、親子連れ・未就学児が利用</li> <li>⇔ 利用時間による差別化必要</li> <li>⇔ ターゲットの差別化必要（駅前子どもたちだけで来られる施設等）</li> </ul>
<p><b>【競合】さくらホール</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 有料貸室</li> </ul>
<p><b>【競合】中央図書館</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 読書、学習スペース</li> </ul>
<p><b>【競合】北上駅東口</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 市内観光窓口</li> <li>• 土産品等の物販</li> </ul>
<p><b>【競合・連携】周辺飲食店</b></p>
<p><b>【競合】周辺宿泊施設（ホテル等）</b></p>

## 市として取り組める事項（案）

- ⇒ 利用に関するニーズ調査（遊び、スポーツ）
- ⇒ スポーツメーカーとの連携
- ⇒ 利用に関わる Web 予約システム等の活用（他施設も含めた一元管理）
- ⇒ イベント管理に関する部署連携
- ⇒ 高校生のチャレンジジョブ的な活用検討
- ⇒ 利用実態の調査（現生涯学習センター等）
- ⇒ 関係団体等へのヒアリング
- ⇒ 観光コンベンション協会、物産開発推進協会等への意向調査及び調整
- ⇒ 民間事業者の導入可能性調査
- ⇒ 市内事業者がお弁当等販売できる空間の確保
- ⇒ 商工会議所への意向調査及び調整
- ⇒ ホテル組合等への調整
- ⇒ 駅ロータリー位置の変更に関する検討
- ⇒ JR、バス会社、タクシー協会との協議
- ⇒ 緑地の整備

## 第3章 北上駅西口地区の整備課題

現況整理やアンケート、ワークショップなどの結果を踏まえ、北上駅西口地区の抱える課題を以下の通りに抽出しました。

### 課題1 人が集う都市機能の導入

- 市民が通過するだけの駅前から、「また来たくなる」魅力ある空間への転換が必要です。
- 周辺や中心市街地、市全域の賑わいを牽引する都市機能の導入が必要です。

高校生や若手職員ワークショップでは、気軽に立ち寄れる学習・交流・レクリエーション機能や情報発信機能など、多様な要望があげられました。また、市民アンケートでは、特に若年層で教育機能に対するニーズがありました。

北上駅西口周辺は、生涯学習、市民活動、地域交流、教育機能を核とし、これらに付随する商業機能や医療機能をバランスよく配置することで、市民の多様なニーズに応える拠点とすることが必要です。

### 課題2 市のエントランスに相応しい人をもてなす空間への再編

- 本市の顔として、シンボリックな空間を形成し、市民が集い、憩い、北上の魅力に触れられる空間づくりが必要です。
- 駅から中心市街地への広がり配慮した一体的な空間再編が必要です。

北上駅西口駅前広場や北上開発ビルは老朽化が進み、景観や快適性の面で問題が顕在化しています。駅前広場には、緑、ベンチといったストリートファニチャーなどの滞留・待合空間が不足しています。

市民アンケートでは「活気や利便性」「シンボル性」への不満が多く、高校生からは「北上らしさ」や季節感を感じられる空間、職員からは多目的広場やレクリエーション機能の提案がありました。

今後は、北上駅西口周辺を本市の「顔」として、シンボリックで市民や来訪者が集い憩える空間とし、中心市街地と一体となった「もてなしの空間」への再編が必要です。

### 課題3 人中心の駅前空間に向けたインフラ再編

- 駅前広場の再編や歩行者・自動車の動線を見直し、人中心の安全で快適な駅前空間の創出が必要です。
- 各交通モードの乗り換え利便性向上に加え、中心市街地方面に人を誘う回遊性の向上が必要です。

北上駅西口駅前広場は、道路による空間分断やバス・タクシー・一般車の乗降スペースの分散、滞留空間の不足など、歩行者の利便性・快適性が低い配置となっています。

市民アンケートでは「自動車アクセスの向上」や「待合環境の改善」などの要望が多く寄せられています。

今後は、駅前広場や周辺道路の見直しを通じて歩行者・自動車の動線を見直し、人中心の安全で快適な駅前空間を実現するとともに、中心市街地への回遊性を高めるウォークアブルな空間への再編が必要です。

## 第4章 北上駅西口の整備方針

### (1) 北上駅西口地区の整備の基本的な考え方(整備コンセプト)

北上駅西口の抱える課題を解決するとともに、本市の玄関口としてふさわしいまちづくりを進めるため、整備コンセプトや整備方針を設定します。

北上駅西口周辺は、本市が目指す都市像である「あじさい都市」の都市拠点の核となるべき、市を代表する場所であり、平日休日を通して多様な人の活動を受け入れるべき場所です。現状は、都市機能や都市基盤の問題により、人が集まる動機に乏しく、滞留する空間も不足しているために人の顔が見えにくい駅西口ですが、「人の姿が見える」にぎわいのある駅前空間をコンセプトに、圧倒的に人が中心の安全・快適な街に再生していきます。

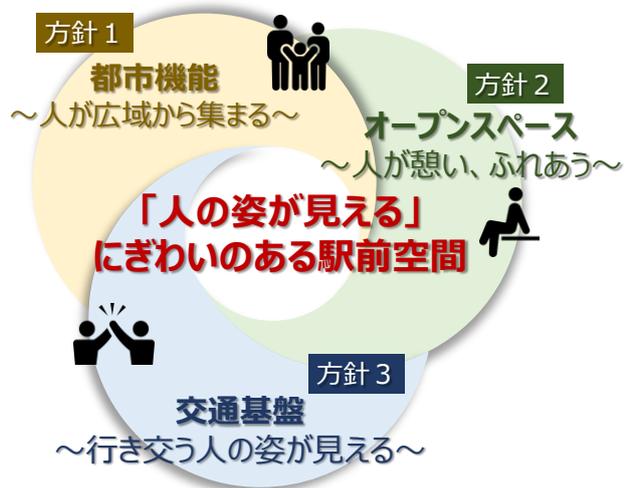


図 北上駅西口地区の整備コンセプト

## (2)北上駅西口地区の整備方針

北上駅西口地区の再生にあたり、人が集う都市機能の導入、人が憩うオープンスペースの充実、人が行き交う交通基盤への再生の3つの方針を掲げ、機能・空間の再編に取り組みます。

### 整備方針1 人が集う拠点の整備

- ・通勤・通学の途中に気軽に立ち寄り、思い思いに過ごすことができる環境を整備します。
- ・地域コミュニティ活動や自己実現など、市民の活動を生み出せる場を整備します。
- ・市民や来訪者の目的地となるような拠点を官民連携で整備します。

#### ■導入機能の例

##### 【地域交流機能】

- ・ 駅前を行き交う市内外の方が気軽に立ち寄り、ゆっくりとくつろげるオープンな空間

##### 【生涯学習・市民活動機能】

- ・ 市内で行われる多様な市民活動に関する情報に触れられ、市民の自己実現を支援するため、多目的に活用可能な空間

##### 【人材育成機能】

- ・ 通学の行き帰りや余暇時間に一人でも複数人でも多様な利用ができる学習スペース
- ・ 地域の将来を担う人材を育成するための教育施設

##### 【健康・医療機能】

- ・ 公共交通結節点として、市全体から自動車に頼らない移動ができる強みを活かしたクリニックや薬局

##### 【おもてなし関連機能】

- ・ 滞在中の快適性を高め、長時間滞在を支える軽飲食・物販施設 など



## 整備方針2 憩える空間の中で人がふれあうオープンスペースの整備

- ・北上市のエントランスに相応しい駅前景観や潤いのある空間を整備します。
- ・駅から中心市街地にかけて、イベントや休憩・待合せのように多目的に活用可能なオープンスペースを配置し、人々の活動が生ま出すにぎわいを視認しやすい空間を整備します。

### 【レクリエーション機能】

- ・屋外を中心に多世代が気軽に運動・スポーツ・レクリエーションが楽しめる空間
- ・地域で活躍するサークルや団体活動の成果を発信でき、本市の伝統・文化を感じることのできる全天候型のイベントスペース
- ・キッチンカーの出店や軽トラックによる野菜販売等が開催できる多目的な空間
- ・訪れた人が思い思いに憩える緑豊かなオープンスペース など



## 整備方針3 人を中心とした交通機能の再編

- ・現在の駅前広場及び周辺のインフラを一体的に再配置することで、クルマ中心から人中心の空間へ、歩行者の移動しやすさを重視した交通結節点として再編整備します。
- ・交通結節点として、各交通モード間の快適な乗り換え動線や待合機能等を整備します。

### 【交通結節機能】

- ・道路における歩行者を優先した空間づくりの検討と道路空間を多面的に活用した賑わいづくり
- ・適正規模への駅前広場再編整備によるシームレスな乗り換え環境と快適な公共交通の待合スペースの確保 など



## 第5章 北上駅西口の将来イメージ

### (1) 北上駅西口地区の空間再編の考え方

北上駅西口を人が中心の空間に再生していくため、戦略的に北上駅西口の骨格を再編していきます。この再編をきっかけに、駅西口の魅力を高めていくことはもちろん、ツインモールプラザや市役所方面への動線をより強固なものとし、中心市街地全体の賑わいの波及を目指します。特に、駅西口においては、整備コンセプトや整備方針の実現に向け、人が主役になる駅前広場への再生、老朽化した北上開発ビルの再生を中心として、都市機能と都市基盤の再編を一体的に展開していきます。

過去に本市が行った調査では、将来の土地利用転換や都市計画道路ネットワーク整備の影響を受け、駅前空間に流入する通過交通が増加する懸念が確認されています。駅前のにぎわいづくりの観点からは、この通過交通の処理は重要な視点となります。

この交通処理のため、駅西口への主動線としての北上駅前線の機能を維持しつつ、北上駅川原町線・北上駅鍛冶町線の各路線の役割分担により、駅西口における交通動線の整序を検討します。この役割分担を実現するため、既存の道路ネットワークの活用に加え、新たな動線確保を図ります。

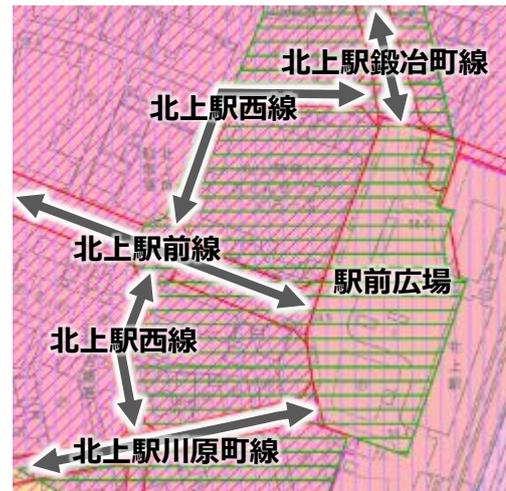


図 北上駅西口地区の都市計画道路

こういった動線の再編には、北上駅西線の拡幅が有効な対策の一つとしてあげられます。ただし、現状の北上駅西線は、広域の通過交通を処理するために計画・運用されておらず、その他の都市計画道路に比べて幅員が狭いことから、通過交通処理という側面では機能が不足しています。

したがって、この駅西線の交通処理機能を強化(拡幅・線形変更)することにより、駅前の空間を分断する通過交通を排除し、駅西口における一体的なにぎわい空間の確保を図ります。

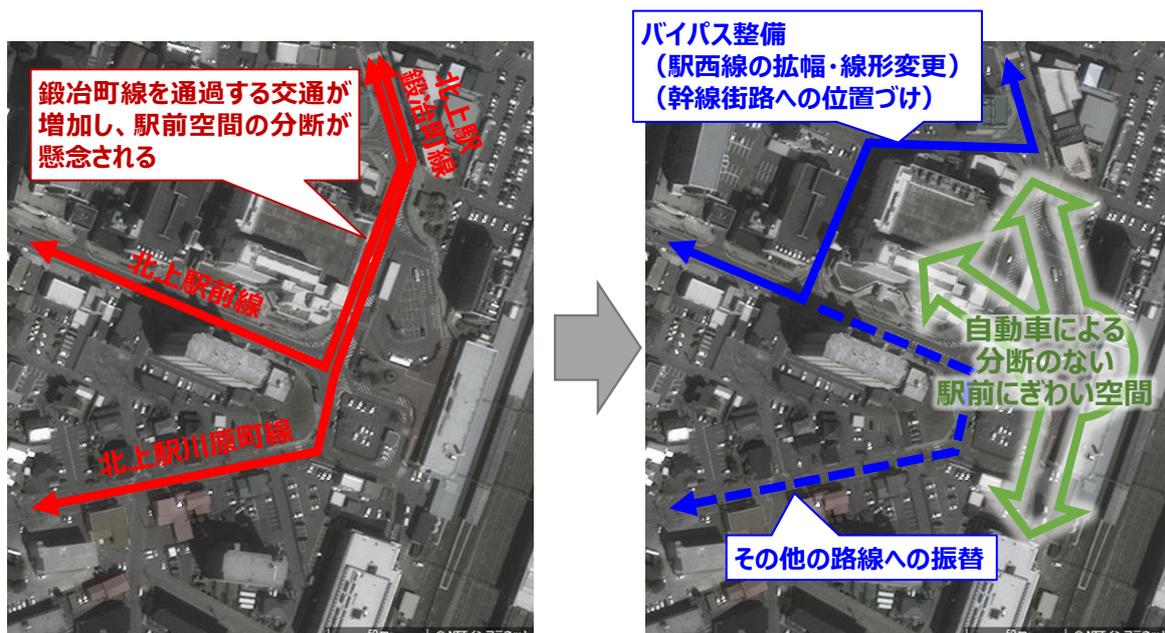


図 北上駅西線の機能拡充の考え方

将来の西口の駅前イメージ ※今後の協議により変更する場合があります





## (2)事業範囲と整備モデルプラン

これまでに掲げたコンセプトや方針に基づき、このグランドデザインにおける整備エリアは、下記で囲んだ範囲を最大の範囲として検討していきます。また、駅前再生の中核を担う駅前広場の運用や北上開発ビルの運営者をはじめとするステークホルダーとの協議・調整を継続的に行いながら、グランドデザインに位置づけた内容の実現に向けて、検討を深度化していきます。



※空間イメージ及び整備エリアについては、今後の協議により変更する場合があります

## 第6章 事業推進に向けて

### (1) 北上駅西口地区における事業手法の考え方

今後の事業実現に向けて、駅西口に導入すべき都市機能を精査しながら、表に記載のある手法を中心として最適な市街地整備手法を選択するとともに、特に新しい建築物の整備については官民連携手法の併用も含めて事業化を検討していきます。

表 整備手法の比較

事業手法 (根拠法)		市街地再開発事業 (都市再開発法)	土地区画整理事業 (土地区画整理法)	道路事業 (道路法、都市計画法)
概要		● 公共施設の整備に併せて建物を共同化・高度化する立体的事業	● 公共施設整備に併せて宅地を再配置する面的事業	● 主に道路や駅前広場のみを整備する線的事業
対象	解体・撤去	○	○ (支障建物のみ)	○ (支障建物のみ)
	基盤整備	○	○ (面的)	○ (線的)
	建物新築	○	× (別事業で整備)	× (別事業で整備)

※それぞれに定められた事業要件があります

事業手法については、上記手法が基本となりますが、資金調達に向けては、社会資本整備総合交付金要綱に基づく、都市再生整備計画の策定、都市構造再編集中支援事業の採択に向けて、関係機関との協議が重要となります。

## (2)今後の検討課題

本ランドデザインの実現に向けた検討課題は以下のようにあげられます。社会経済情勢の変化を十分に踏まえつつ、本市の関連プロジェクトとの連携をとりながら、ランドデザインの実現に向けて検討を深度化していきます。

### ○ステークホルダー間の合意形成

北上駅西口地区においては、北上開発ビルの整備も含めて、権利者の方々を始めとした関係主体の協力によりまちづくりを進めてきました。

2024年6月には、北上駅西口地区再整備における北上開発ビルの整備方針等を検討するため、北上開発ビルの地権者で構成する「北上駅西口地区まちづくり協議会」が発足しています。こうした協議会や、JR、交通事業者等のステークホルダーとの対話を重ね、丁寧に合意形成を図っていきます。

### ○エリアマネジメントの推進

北上駅西口の再編を見据え、駅前空間を活用する市民意識の醸成が必要です。中心市街地では、きたかみ朝市が月に1回開催され、また、令和7年度には北上駅鍛冶町線のウォークブル化に向けた社会実験が行われ、公共空間の活用の可能性を探るなど、エリアマネジメントの取り組みも展開されています。このようなソフト面での取り組みを継続し、人中心の駅前空間を活用するプレーヤー、団体を発掘し、コミュニティを組成していきます。

### ○事業スキームの精査

近年、建築コストの高騰により、公共・民間を問わず、都市開発に関連するプロジェクトの中断などが全国で散見されています。本プロジェクトもその例外ではありません。

加えて、資金調達に重要な国庫補助の採択に向けて、より総合的な駅前再編の必要性を関係機関に説明していくことが必要になります。